

＊ ＊ ＊ 立民内では共産との連携について「共産との協力という禁じ手を使ってこの結果では話にならない」（中堅）、「共産とべったり連携して、もう穏健保守層からは信頼されない」（ベテラン）などと悔やむ声が出ている⇨読売新聞らしい書き方だ ＊ ＊

＊ 米山 隆一さんは以下 @RyuichiYoneyama

「共産とべったり連携してもう穏健保守層からは信頼されない」との事ですが私はガッツリ共産街宣車に乗ったにも関わらず自公支持者の 3 割に食い込んだと報道されています。穏健保守層からの信頼は共産党との連携の有無ではなく保守層に向き合っているか否かで決まると思います」

＊ 一部メディアのように、立憲が共産とタッグを組んだことが敗因だと断じるのは違うんじゃないかと思います。本当にそれが原因なら、激戦区が与党幹部が慌てるほどの数にのぼったことの説明がつかない。共闘は間違いなく脅威なんだから、結局は相手を上回る地道などぶ板活動の数をこなす事に尽きるのでは

＊ 室井佑月 @YuzukiMuroi

中から参加したものですが、それは絶対に違うとはっきり言えます。

＊ さんがリツイート

野党は、非正規を含めた幅広い労働者の支持を固める努力が必要です。そもそも連合を支持する労働者がどれだけいるのでしょうか。正規社員の中のほんのひと握りしか加盟していないし、今後は 45 歳定年制が主流になります

＊ さんがリツイート

連合会長は、一体何を実現したいのか、殆ど理解できません。貧困、環境、ジェンダーにこうしたいとか、労働者のためにこうしたいとかいうところから話をしないで、共闘に対する攻撃ばかりしています。それだと、分断を招いてしまい、結果、問題が解決しなくなります。解決したい問題から考えてほしい

＊ ; ; 静かにゆく人ほど、遠くへゆく ; ; さんがツイート。

「山本氏、立憲主導の野党共闘に不満」という見出しの記事を書きたくて、立憲枝野の悪口を山本太郎さんの口から引き出そうと誘導尋問する記者。瞬時にその意図を見抜いて「悪口言って欲しいんでしょ？その手には乗らないよお～」と笑顔で切り返す山本太郎。この明晰な頭脳が山本の魅力のひとつだ